

～図書館だより～

R7年月号

夏休みにむけて長期貸し出しを始めました。
9月1日（月）まで借りることができます。

長い夏休み、読んだ本の感想を書いてみませんか？

第71回青少年読書感想文全国コンクール
高等学校の部：課題読書・自由読書
本文2000字以内

課題図書揃えています！

『銀河の図書室』 名取佐和子

『夜の日記』 ヒラナンダニ

『「コード」のぼくが見る世界』 五十嵐大

興味のある方は声かけてください。



日本人初の快挙

ダガー賞（英国推理作家協会賞）翻訳部門受賞

『ババヤガの夜』 王谷晶

ミステリの世界で最も有名な「ダガー賞」とよばれる文学賞の翻訳部門で、王谷晶氏の『ババヤガの夜』が受賞しました。日本人の作品が選ばれるのは初めてです。

「ババヤガ」とはロシア民話の鬼婆^{おにばば}で、鶏の足の上の家に住んで、人間の骨を飾っています。主人公は、鬼のようにケンカに強い依子。なんと暴力団会長の娘の尚子のボディガードをやるはめになります。暴力的な依子とお嬢さま育ちの尚子。はたして二人の運命は？

新刊おすすめ本

『わたしは食べるのが下手』 天川栄人

葵と咲子は、「給食を残さない」ことを目標にかかげる中学校の生徒。給食を「食べられない」「食べたくない」と悩んでいます。給食の担当橘川先生は二人に「今の給食がしんどいなら、あなた方が食べたい給食に変えればよろしい」と言います。「栄養オタクの変わり者だ」と二人をドン引きさせる先生ですが、二人の話をちゃんと聞いてくれた初めての大人でもあります。葵と咲子は給食を変えられるのでしょうか？